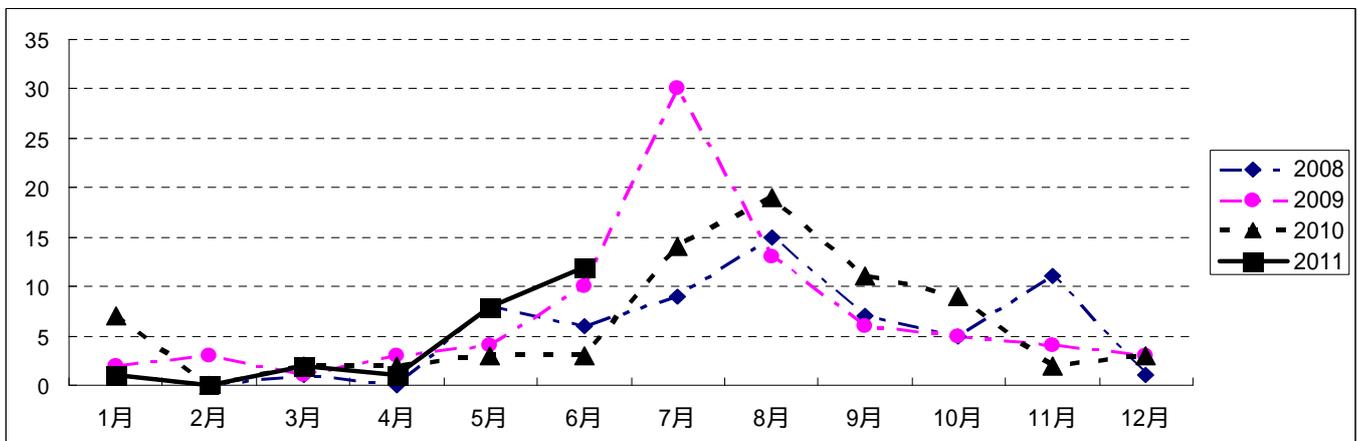


今月のトピックス

- 腸管出血性大腸菌感染症が増加しています。
- 咽頭結膜熱が、磯子区、緑区で警報レベルです。
- 水痘が、鶴見区、緑区、瀬谷区で注意報レベルです。
- 伝染性紅斑が、中区、港南区、青葉区、栄区で警報レベルです。
- 手足口病の流行に注意が必要です。

全数把握の対象

- 1 細菌性赤痢:1 件の報告がありました。菌種は Shigella sonnei です。国内での感染が推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:12 件(O157VT1VT2 が 8 件(うち 3 件は家族内感染)、O157VT2 が 2 件、O26VT1 が 1 件、O26VT1VT2 が 1 件)の報告がありました。特定の飲食店等での集団感染はありませんでしたが、家族内での発生が見られ、家庭内での調理や食事にも注意が必要です。例年夏季に感染者数のピークを迎えますが、過去 3 年間と比較して今年の感染者数の増加は目立っており、今後の注意が必要です。本症は特に抵抗力の弱い乳幼児や高齢者で重症化することがあります。通常、菌は家畜の腸内に存在し、新鮮な肉を購入しても表面に菌が付着している可能性があり、生肉を切った包丁やまな板の洗浄・消毒や、焼肉の生肉を取る箸と食べる箸を区別する等の予防対策が重要です。また菌は熱に弱いので、肉は十分に加熱(中心部まで 75℃で 1 分以上加熱)し、生肉や加熱が不十分な肉を食べないことが大切です。



- 3 パラチフス:1 件の報告がありました。インドでの感染が推定されています。
- 4 A 型肝炎:1 件の報告がありました。ウズベキスタンでの感染が推定されています。
- 5 マラリア:1 件の報告がありました。卵形マラリアで、ザンビア共和国のチパタ(東部州の州都)での感染が推定されています。
- 6 後天性免疫不全症候群:3 件(無症候期)の報告がありました。
- 7 麻しん:4 件の報告(成人 3 件、幼児 1 件)がありました。いずれも臨床診断例です。近隣の自治体では、2011 年 1 月～6 月 22 日までに東京都の麻しん累積患者数が 148 件にのぼり、流行が続いているので、今後の状況に引き続き注意が必要です。対象者への確実な予防接種の実施が望まれます。

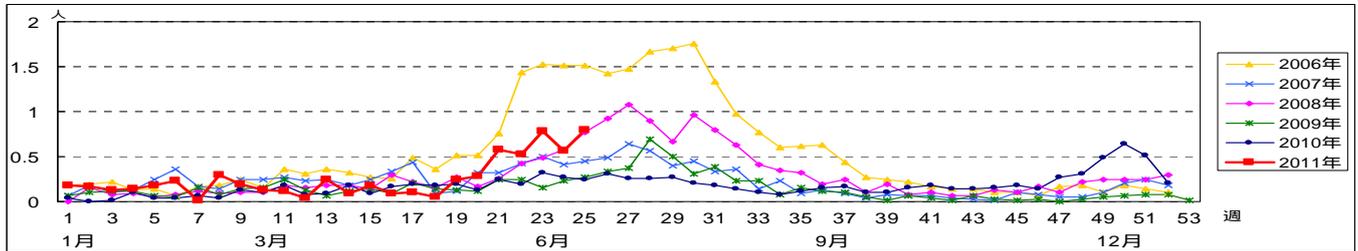
※各感染症については、横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/>

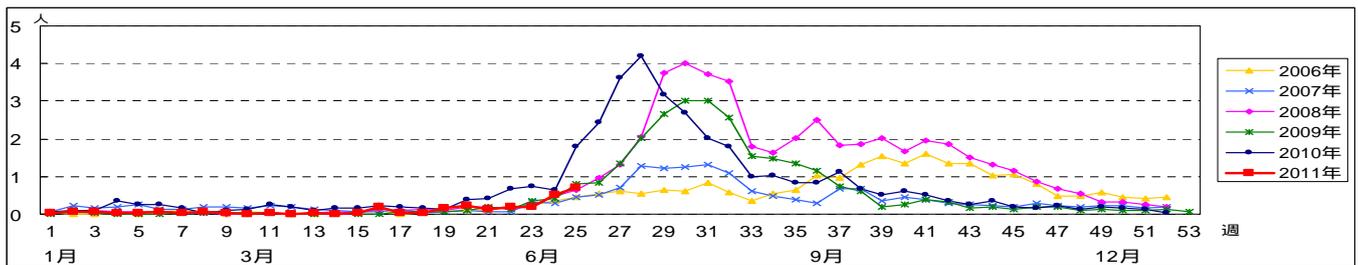
定点把握の対象

- 1 **咽頭結膜熱**:第 25 週では、磯子区で定点当たり 5.75、緑区で 4.00 と、警報レベルを上回りました。磯子区では 5 週間警報レベルが持続しています。市全体では 0.79 と警報レベルに至っていませんが、漸増しており、例年初夏から流行が見られる疾患ですので、今後の推移に注意が必要です。25 週では、全国 0.77、県域(横浜、川崎、相模原市除く)0.68、川崎市 0.44、東京都 0.75 でした。

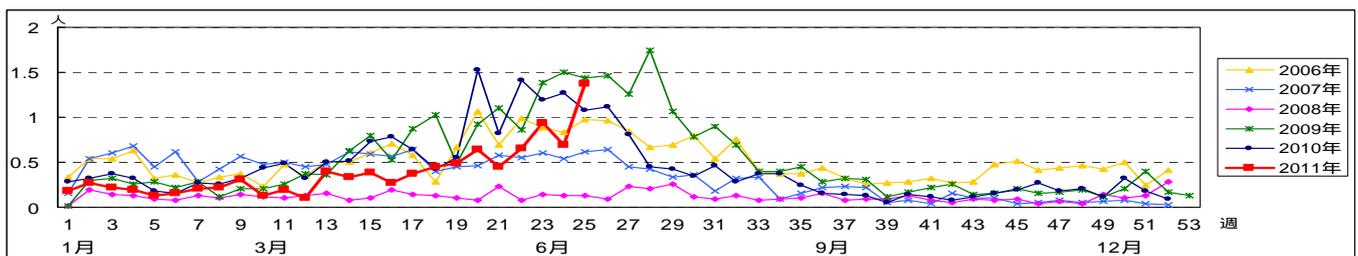
平成 23 年 週 - 月日対照表	
第 21 週	5 月 23 ~ 29 日
第 22 週	5 月 30 ~ 6 月 5 日
第 23 週	6 月 6 ~ 12 日
第 24 週	6 月 13 ~ 19 日
第 25 週	6 月 20 ~ 26 日



- 2 **水痘**:第 25 週では、鶴見区 4.20、緑区 5.40、瀬谷区 4.75 で注意報レベルとなっています。緑区では 3 週間注意報レベルが持続しています。市全体では 2.07 と 3 週間連続で低下していますが、例年初夏に流行が見られる疾患ですので、今後の推移に注意が必要です。25 週では、全国 1.65、県域 2.88、川崎市 1.09、東京都 1.21 でした。
- 3 **手足口病**:第 25 週では警報レベルの区は無く、市全体でも落ち着いていますが、市全体の 24 週 0.51 から 25 週 0.70 とやや増加しており、この立ち上がりのパターンは 2008 年と酷似しています。2008 年は 29、30 週頃(7 月下旬)に流行のピークを迎えたので、今後の警戒が必要です。25 週では、全国 4.27(主に西日本での流行)、県域 0.36、川崎市 1.19、東京都 1.34 でした。



- 4 **伝染性紅斑**:第 25 週では、中区 5.50、港南区 2.20、青葉区 2.17、栄区 4.25 と警報レベルを上回りました。栄区では 6 週間警報レベルが持続しています。市全体では 1.38 ですが、24 週の 0.69 からほぼ倍増しており、例年初夏から流行が見られる疾患ですので今後の推移に注意が必要です。25 週では、全国 1.47、県域 1.33、川崎市 1.69、東京都 1.37 でした。



- 5 **性感染症**:性感染症は、産婦人科系の 10 定点、および泌尿器科・皮膚科系の 17 定点からの報告に基づき、1 か月単位で集計されています。5 月では、性器クラミジア感染症は男性が 19 件、女性が 17 件でした。性器ヘルペス感染症は、男性が 7 件、女性が 9 件です。尖圭コンジローマは男性 7 件でした。淋菌感染症は、男性が 15 件、女性が 1 件でした。
- 6 **基幹定点週報**:5 月は第 21 週に無菌性髄膜炎の報告が 1 件(4 歳男児)、マイコプラズマ肺炎が第 25 週に 1 件(8 歳女児)ありました。マイコプラズマ肺炎は、第 4~6 週に 4 件報告されて以来の報告です。細菌性髄膜炎は今年に入って 1 件もありません。クラミジア肺炎は第 14 週に 1 件報告されたのみです。
- 7 **基幹定点月報**:5 月は、メチシリン耐性ブドウ球菌感染症 6 件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、御参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>